

VG 槻輪

8. 田中の丸また

おそらく日本の中でも最も古い高架のひとつが「田中の丸また」です。

1876年（明治9年）に東海道本線開通と同時に出来ました。現在も地元の人たち抜け道として利用されています。

高架の先には明治時代から営んでいます、お豆腐の伏見屋さんがあり、なにか当時の雰囲気があるところはあります。

伏見屋の横の旧道を入ると史跡丸また「まるまた（門ノ前架道橋）」が見えます。

この煉瓦トンネル内の煉瓦、振じったような、そんな感じの煉瓦の積み方です。これは、業界用語で「振じりマンボ」といいます。



9. 伏見屋本舗

橋を渡ると茨木市田中町に入ります。田中町には、VG 槻輪「わがまち紹介」活動で平成24年6月に訪問しています。

現在の茨木市田中町は住宅地になっていますが、明治時代は茨木北市場といわれ、食品、衣料、雑貨などいろいろな商品の卸売や小売店舗、旅籠や料理屋などが林立する商業集積地として活況を浴びていた地域です。

豆腐の「伏見屋本舗」は、当時から繁昌していたお店です。伏見屋の移動販売車は、毎週決まった曜日、決まった時間に決まった地域を巡回し販売されています。



10. JR 総持寺駅

東海道本線では初めてとなる、駅名に「JR」を冠した駅だそうです。駅改札出口の壁面には、アートプロジェクトが有ります。

半年ごとに絵が変わるとの事で、9月に絵が変わりました。



11. 西河原新橋

JR 総持寺駅の北口を出て西に向いて進みますと、平成15年開通した青いアーチの西河原新橋が見えます。

安威川をはさむ田中町と西河原1丁目を結ぶ西河原新橋が開通し、西河原方面から茨木市中心部への交通の利便性が向上しました。

